



神田外語大学報

KUIS CAMPUS INFORMATION

第52号

平成30年12月25日(火) 神田外語大学広報部発行 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1 TEL.(043)273-2826 Fax.(043)273-2988 URL <https://www.kandagaigo.ac.jp> E-mail prdept@kanda.kuis.ac.jp

朝日教育会議 「ボーダレス社会を生き抜くための言葉の力」 シンポジウムを開催

10月14日(日)、本学と朝日新聞社共催によるシンポジウム「朝日教育会議」が本学で開催された。このシンポジウムは朝日新聞社創立140周年を記念し、15大学とコラボレーションして開かれた。本学では「ボーダレス社会を生き抜くための言葉の力」をテーマに、世界で活躍するタレント、ジャーナリストらを招聘し、熱い討論を交わした。

第一部 ■ トークセッション ■



鈴木竜矢さん
Ryuya Suzuki



大野真由さん
Mayu Onoshi



眞壁ひとみさん
Hitomi Makabe

「言語を通して世界とつながりたかった」という眞壁ひとみさん(国際コミュニケーション学科国際コミュニケーション専攻4年)は、札幌冬季アジア大会や高円宮杯フエシシングワールドカップな

ど、世界的な競技大会で韓国語の言語サービスボランティアを行った体験を次のように語った。「韓国の方は、ものごとをはっきりさせたいタイプが多いのが特徴だと思います。通訳という言葉を読んだだけと思われがちですが、相手の国の文化を知って、その違いも含めて伝えることを心がけました」

大野真由さん(アジア言語学科韓国語専攻2016年卒)は、提携する海外の大学の学位も得られる「ダブルディグリー制度」を利用し、3・4年次は韓国の慶熙大学校で学んだ。卒業後も韓国にとどまり、高校で日本語の教師をしている。「韓国の大学に留学中、日本語を教えるボランティアをして、とても楽しかったんです。これを仕事にしたら、絶対やりがいがあるだろうと。高校の時には、想像し

てもいなかった人生を歩んでいます」

中南米の最貧国のひとつ・ニカラグアに、外務省の在外公館派遣員として赴任した鈴木竜矢さん(イペロアメリカ言語学科スペイン語専攻2016年卒)。間断なく停電、断水に襲われ、日常生活に苦労したものの、ニカラグアの人々の優しさにふれ、「大好きな国になった」と語った。在外公館派遣員の魅力については、「若いときに海外で生活し、自分で培った語学で仕事ができることです。その行き先が発展途上国なら、普通ではできないような経験もできて、たくましくなります」と、熱を込めて話した。

第二部 ■ トークショー ■



渡辺直美さん
Naomi Watanabe



古田大輔さん
Daisuke Furuta

インスタグラムのフォロワー840万人超えの人気お笑い芸人、渡辺直美さんが登壇。渡辺さんは、お笑いにとどまらずさまざまな分野で活躍されている。BuzzFeed Japan創刊編集長の古田大輔さんの進行で、2014年にアメリカへ留学した経験を、楽しく紹介された。

実は渡辺さん、英語が大の苦手だったそう。「アハハハハ。ホン

トに世も末なくらいしゃべれなかったんです。ただ、洋楽が好きだから英語で歌ったり、洋画もよく観たりしていましたね」

2014年、人気絶頂のなか、一念発起しニューヨークへ留学することを決意する。インターネットや知人のツテで、語学学校やアパートを探した。「学校は、マンツーマンで教えてくれるところを探しました。これが大正解でしたね。毎日4時間、英語の先生としゃべり続けるんですが、最初はまったくわからなくて“雑音”なんです。それが1カ月で簡単な話なら理解できるようになり、3カ月たつと勉強したことを応用したり、ちょっとなら自分の思いや感情を言葉に乗せて話せるようになりました」

コミュニケーションは言葉だけで成り立つものではない、とも。「同じ感覚の人間だったら、言葉が拙くてもなんとなく伝わるんですよ。英語の先生とも、私がネタをやって2人で息ができないくらい笑ったりして。伝わるのは言葉だけじゃないんだって感じました」

最後に渡辺さんが「みなさんの声も聞きたいな」と呼びかけたところ、会場の子高生から「夢を追いつけることで、大事にしていることってありますか」と質問があった。

「うちは母子家庭で、ひとりぼっちの夜はテレビが寂しさを紛らわせてくれたんです。そのとき、大人になったら“あっち側”に行つて、テレビを観ている人を慰めたいって思ってたんです。でも、その思いが大きいんですね。私から元気をもらってほしい。あなたも何でもいから、誰かのためになることをしてほしい。もうひとつ、ずっと自分を好きでいてほしい。この2つがあれば、夢は叶うはずさ」

渡辺さんの言葉に、会場からは大きな拍手が。渡辺さんの大ファンだという女子高生に対して、渡辺さんはこんな言葉で励ました。「この大勢の中で、手を挙げたってことはすごい勇気だよ。あなたの夢は、絶対叶うよ。笑いと感動に包まれた45分間だった。

第三部 ■ パネルディスカッション ■



安田菜津紀さん
Natsuki Yasuda



高木耕准教授
Ko Takagi



古田大輔さん
Daisuke Furuta



鈴木竜矢さん
Ryuya Suzuki

世界をフィールドに第一線で活躍する社会人のみなさんが、海外へ飛び出したきっかけ、外国語の習得法などを紹介し、異文化を理解する大切さを討論した。

第一部で出演した鈴木竜矢さんが再び登壇。神田外語学院から神田外語大学3年次に編入した鈴木さんは、自身のスペイン語の習得方法について次のように話した。「私は神田外語学院1年次に、スペインに3カ月留学しました。3カ月で1年ぶんの勉強をしようと思い実行したのが、「毎日宿舎から学校まで歩き、10人以上に

話しかけること」です。これを実行したことだといふスペイン語を話せるようになりましたね」

ニカラグア滞在中は田舎町や周辺の国を訪れ、現地の人と交流を図った体験を通して中南米が大好きになった鈴木さん。今後はSNSで、中南米の魅力を発信していきたいそう。

安田菜津紀さんは高校2年のとき、途上国の恵まれない子どもたちを支援するNGO「国境なき子どもたち」に参加してカンボジアに行ったことをきっかけに、フォトジャーナリストへの道を歩みはじめた。カンボジアやシリアなど主に東南アジア・中東をフィールドに取材を続けている。言語の習得について、次のように語った。

「インタビューをするとき通訳を介すと、取材対象と視線が合わないんです。相手は通訳さんを見て話し、通訳さんが私を見て話す。ダイレクトに話している感じがしない。人の微妙な感情は言葉に表れると思うので、それを取りこぼしたくないと感じ、カンボジア語を勉強しました」。安田さんの夢は、平和になったシリアで現地の友だちと一緒にコーヒーを飲むこと。そのためのために、現在

YouTubeを利用してアラビア語の勉強をしている。

国連平和維持活動、PKOの選挙監視員、外務省専門調査員など、海外での体験が豊富な本学イペロアメリカ言語学科の高木耕准教授は、自身の海外体験、そして指導者としての立場から、語学について次のように話した。

「将来何をやりたいか、目的意識、向上心、好奇心をもった学生の上達は早いんですね。妄想でもいいから、好きな人を想像して外国語でラブレターを書いてみましょう。語学は日々変わっていきますし、そもそもよその国の言葉を完璧にマスターするのは難しい。その必要もありません。だからこそ、一生続けられるのが、外国語学習の魅力なんです」

外国はどこでもいから行くことに意義があるとも言い、こう締めくくった。「外国で不自由な思いや嫌な思いを経験すれば、日本に住む外国人、あるいは難民の気持ちが理解できる。最初の一步を踏み出す勇気をもって欲しい。大学は、そういう若者を応援する場所です」

第32回 浜風祭開催!

10月27日(土)、28日(日)

32回目の本学学園祭「浜風祭」が「世界一周KUIS旅行 ～KUIS travelers～」というテーマにて開催された。

今年は2日間とも好天に恵まれ、昨年より2,000名以上多い6,083名もの来場者で賑わった。

来場者の一番の楽しみはやはり各国の料理屋台ではないだろうか。今年は料理屋台が浜風祭のテーマに沿って、ヨーロッパ、中南米、アメリカ、東南アジアとエリアごとに配置された。各エリアにはスタンプラリーのスタンプスポットも設けられ、子供の来場者が楽しそうにスタンプを集めながら屋台を巡る姿が見られた。

また、写真映える異国情緒あふれる7号館2階MULCや8号館の特徴をそのまま活用し、それぞれの館内にはチェキスポットも設けられた。特にMULCでは民族衣装の有料貸し出しも行われ、来場者はまるで本当に世界一周旅行をしているかのように民族衣装に身を包み、記念撮

影を楽しんでいた。

MULC2階のクリスタルホールでは、多言語コミュニケーションセンターという名にふさわしく、スラブ研究を専門とする黒田龍之助特任教授とイスラム研究を専門とする吉田京子准教授との対談も行われた。

各教室ではサークルやゼミの展示発表等も行われ、日頃の活動成果が見られた。

パフォーマンスステージは、中庭内のメインステージのほか、ダンススクエア、食神、ミレニアムハウスの計4カ所設けられ、それぞれのステージで国際色豊かな音楽や踊り、語劇等のパフォーマンスが披露された。

来場者はまさにテーマの通り、キャンパスを巡りながら世界一周旅行の気分を思い思いに楽しんでいた。



第14回 ホームカミングデー開催

12月8日(土)

卒業生が一堂に会し、交流を深める「ホームカミングデー」が12月8日(土)に開催された。今年は大学のアジア食堂「食神(しょくじん)」を会場に実施。ステージでは昨年に引き続き、イオンモール幕張新都心にある「よしもと幕張イオンモール劇場」から4組のゲストが登場。尼神インター、コロコロチキチキペッパーズ、しんぼる、マゴコロソウホントンによるステージに会場は大いに沸いた。また、今年も卒業生の協力のもとエノテカ(株)によるワインが提供された。

なお今回はホームカミングデー開始前に人数限定特別イベントとして、本学で生物学や環境科学の授業を担当する飯島明子准教授による、学内の植物を使用したクリスマスリース作りのワークショップも行われた。クリスマスを前に学内の植物で上手くデコレーションをし、世界に一つだけのオリジナルリースを熱心を作る姿が見られた。

旧友との久々の再会を喜び合ったり、昨年できた8号館を見学し、変わっていく母校の様子に驚いたり、それぞれに盛り上がる会となった。



【同窓会事務局より】 神田外語大学同窓会は、これからも卒業生が母校に帰る機会の創出や卒業生による在学生支援活動など、さまざまな事業を展開してまいります。卒業生の皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

KUIS卒業生交流会支援制度のご案内

神田外語大学同窓会では、部活、サークルのOB・OG会やクラス会の開催を支援する制度を平成22年3月からスタートしています。

代表者が同窓会費を納入済で5名以上の卒業生が参加する会であれば、参加者1名につき¥1,000を支援します(※ただし年度内に1回限り)。また教職員の方も支援対象となります(※退職された方も含む)。

詳しくは下記大学ホームページをご覧ください。ご不明な点がございましたら、同窓会事務局までお気軽にお問い合わせください。卒業生の皆様のご利用をお待ちしております。

KUIS卒業生交流会支援制度 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/dosokai/shien/>

支援制度に関するお問い合わせ

神田外語大学同窓会事務局 〒261-0014千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1

TEL 043-273-2519 Email almn@kanda.kuis.ac.jp

受付時間 9:00～17:15 (土日・祝日、年末年始・入試期間・GW・お盆などの大学閉鎖期間を除く)

神田外語学院校友会(同窓会)

ホームカミングデー開催のお知らせ

2019年2月24日(日)に「第1回 神田外語学院校友会ホームカミングデー」を開催します。当日は、神田外語学院で教鞭をとられた先生方もお招きする予定です。詳細は、神田外語学院校友会Facebookで随時お知らせしていきます。ご友人にもぜひ情報を共有ください!

<https://www.facebook.com/KIFL.alumni.office>



神田外語大学ボランティアセンター活動報告

今年でボランティアセンターの設立から6年目を迎え、2018年度1年間の国内外のボランティア参加者数はのべ586名となった(2018年11月現在)。近年、外国人観光客の増加に伴い、本学の特徴である語学力を活かした通訳関連のボランティア、小学校での英語教育義務化を受けて学校教育関連のボランティアはニーズが高まっている。

2020年に東京で開催される世界的なスポーツの祭典における大会及び都市ボランティアの募集が9月から始まったが、本学でも千葉県から担当者をお招きし説明会を3回実施した。約800名の学生が参加し、ボランティア活動への関心の高さがうかがえた。ボランティアの需要は幅広く、語学を使う活動機会は増加傾向にあるため、今後、ボランティアセンターではより多くの学生が大学での学びを活かせる環境整備を行っていく。

2018年度ボランティア活動実績及び活動予定

案件	月	人数
千葉日大第一中学校英語学習補助ボランティア(前期)	4月2日(月)～8月31日(金)	5
エアロビック協会Suzuki World Cup通訳ボランティア	4月21日(土)・22日(日)	3
C&C Japanゴールボール日本代表チーム合同合宿通訳ボランティア	4月27日(金)～30日(月)	5
タイフェスティバル通訳・運営補助ボランティア(A日程)	5月11日(金)～13日(日)	1
東京ヤマソン運営補助ボランティア	5月12日(土)	15
タイフェスティバル通訳・運営補助ボランティア(B日程)	5月12日(土)・13日(日)	1
WDSF世界ユースブレイキン選手権通訳ボランティア	5月17日(木)～21日(月)	13
スパルタンレス運営補助ボランティア	5月19日(土)	19
幕張新都心クリーンの日(春)清掃活動ボランティア	5月23日(水)	2
レッドブル・エアレース千葉2018運営補助ボランティア	5月26日(土)・27日(日)	26
第14回幕チャリXソラビト	5月27日(日)	60
TOKYOベイエリアナイトラン(第一回)運営補助ボランティア	6月8日(金)	11
カラテドリムフェスティバル2018国際大会通訳ボランティア	6月22日(金)～24日(日)	8
千葉市立打瀬小学校留学生文化交流ボランティア	7月11日(水)	6
ブラジルフェスティバル運営補助ボランティア	7月14日(土)・15日(日)	42
女子ソフトボールニュージーランド代表チーム等による少年少女ソフトボール教室通訳ボランティア	7月27日(金)	1
FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Masters 2018通訳ボランティア	7月28日(土)・29日(日)	3
ベイタウン商店街翻訳ボランティア	7月～8月	2
スコアサマーキャンプ運営補助ボランティア	7月30日(月)～8月16日(木)	8
国際ボランティアプロジェクト	7～9月	11
オセアニア環境保護ボランティア	7～9月	3
オセアニア幼稚園ボランティア	7～9月	6
アメリカボランティア	7～9月	2
アメリカボランティア(教師アシスタント)	7～9月	1
台湾ボランティア	7～9月	2
第16回世界女子ソフトボール選手権大会通訳ボランティア	8月1日(水)～12日(日)	46
東日本大震災復興教育ボランティア(宮城県亘理町)	8月6日(月)～10日(金)	27

案件	月	人数
サマーソニック千葉物産展運営ボランティア	8月18日(土)・19日(日)	12
「えいごであそぼ」英語講師ボランティア	8月22日(水)～24日(金)	6
京都大覚寺日本文化体験&通訳ボランティア	8月22日(水)～24日(金)	8
千葉日大第一中学校英語学習補助ボランティア(後期)	9月1日(土)～2019年3月30日(土)	5
千葉市アクアスロン大会運営補助ボランティア	9月8日(土)・9日(日)	34
TOKYOベイエリアナイトラン(第2回)運営補助ボランティア	9月21日(金)	14
フィエスタメヒカーナ運営補助ボランティア	9月22日(土)～24日(月)	33
幕張南小学校ニュージーランド交流会通訳ボランティア	9月25日(火)	24
台湾大学モニターツアーアテンドボランティア	9月25日(火)・26日(水)	2
公文イングリッシュイマージョンデイ運営補助ボランティア(横浜)	9月29日(土)※30日(日)は荒天のため中止	5
幕張本郷中学校タイ語サポートボランティア	10月1日(月)～2019年3月22日(金)	4
輸出EXPO通訳ボランティア(森白製菓)	10月10日(水)～12日(金)	3
幕張新都心クリーンの日(秋)清掃活動ボランティア	10月11日(木)	1
公文イングリッシュイマージョンデイ運営補助ボランティア(藤沢)	10月13日(土)・14日(日)	2
東京・葛飾ウルトラマラソン運営補助ボランティア	10月20日(土)	3
公文イングリッシュイマージョンデイ運営補助ボランティア(静岡)	10月20日(土)・21日(日)	1
幕張ベイタウン ハロウィンパーティ2018運営補助ボランティア	10月21日(日)	12
ちばアクアラインマラソン(ハーフ会場)通訳ボランティア	10月21日(日)	4
ちばアクアラインマラソン(メイン会場)通訳ボランティア	10月21日(日)	8
流山おおたかの森高校外国人生徒サポートボランティア	11月～	2
第1回チバテレビ4時間リレーマラソンin MAKUHARI 運営補助ボランティア	11月10日(土)	28
「英語で楽しむ親子おはなし会」読み聞かせボランティア	11月10日(土)・17日(土)	4
サンタクロースイベント通訳ボランティア	11月17日(土)～28日(水)	10
幕張南小学校「学びフェスタ」講師ボランティア	11月17日(土)	9
幕張ベイタウンマラソン大会運営補助ボランティア	12月16日(日)	15
タイムモニタリングツアーアテンドボランティア	2019年1月22日(火)・23日(水)	1
ホノルルフェスティバルボランティア	2019年3月5日(火)～13日(水)	7

第16回世界女子ソフトボール選手権大会通訳・運営ボランティア

8月1日(水)～8月12日(日)の12日間、「第16回世界女子ソフトボール選手権大会」がナスパ・スタジアム、ゼットエーポールパーク、秋津野球場、ZOZOマリンスタジアムの各会場で開催され、46名の学生が通訳ボランティアとして活躍した。学生たちは、チーム帯同アシスタント、言語サポート(英語またはスペイン語)、関係者受け付けサポート(英語)、競技アナウンス(英語)の4つの中からそれぞれ役割を割り振られ、担当の会場で活動した。活動をすべて終了した参加者には、第16回世界女子ソフトボール選手権大会組織委員会よりボランティア活動修了証が発行され、10月15日(月)7号館クリスタルホールにて修了証授与式を開催した。授与式では組織委員会事務局長より直接学生一人ひとりに修了証が授与された。



Sports Camp of America(SCOA)主催のサマーキャンプボランティア

7月30日(月)～8月16日(木)スコアサマーキャンプにおいて8名の学生がボランティアとして参加した。使用言語は英語で、アメリカの大学生(シニアカウンセラー)が主導で行うさまざまなアクティビティの運営をサポートし、キャンプ参加者(小学1年～高校1年の子どもたち)に英語の楽しさを伝えたり、参加者の生活面・活動面でのサポートに至るまで多岐にわたる活躍をした。語学力を活かしたい、教職課程を履修している等の学生がほとんどで、「シニアカウンセラーのコミュニケーションの方法から多くを学び、英語がわから

ない子どもたちが積極的に英語を話し、理解しようとする姿に感動し、とても有意義な経験をしたことができた」という感想があった。



「第6回全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー」開催

8月29日(水)～31日(金)、「第6回全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー」が神田外語大学にて開催された。全国の7つの外語大学から424名の学生が参加し、3日間のセミナーを通して幅広い知識や技能を学んだ(本学からの申し込み者が定員を超過したため、本学参加者319名のうち127名と神田外語学院の学生5名については、9月5日(水)～7日(金)に開催された同内容のセミナー「神田外語大学版通訳ボランティア育成セミナー」に参加)。セミナーでは5つの言語(英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語)に対応し、スポーツ文化や国際スポーツ界の現状から、スポーツを通したグローバル人材やテクノロジーまで幅広いスポーツ教養・教育について講義が行われた。

2019年に開催されるラグビーワールドカップについて、ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務総長特別補佐の徳増浩司氏が登壇さ

れ、チームスポーツの素晴らしさや大会を取り巻くボランティアの重要性について話された。

第1回から累計して受講者数は1,758名に上る。3日間のセミナーを修了した学生は全国外大連合通訳ボランティア人材バンクに登録することができ、第1回から累計して現在1,537名が登録。登録者は「2018平昌冬季オリンピック」など世界大会や国際イベントで活躍し、2019年のラグビーワールドカップでの通訳・運営ボランティアとして95名(本学からは30名)が参加を予定している。



東日本大震災復興教育ボランティア

8月6日(月)～8月10日(金)の5日間、学生27名が宮城県亘理町にある7つの児童館で復興教育ボランティアを行った。例年同様、亘理町中央児童センター、逢隈児童館、荒浜児童クラブ、高屋児童クラブ、吉田児童クラブ、吉田西児童クラブ、中町児童クラブで英語アクティビティを含めたボランティア活動を実施した。昨年参加した学生の顔や名前を憶えている子供たちも多く、毎年学生

が来ることを楽しみにしている様子だった。逢隈児童館の方から震災当時のお話を伺い、改めて震災について学び、「今、私たちにできること」を再認識した。



●●●●● 大学院からのお知らせ ●●●●●

本学大学院言語科学研究科は、東京キャンパスに英語学専攻MA TESOLプログラム(修士課程)を置き、千葉幕張キャンパスに日本語学専攻 日本語学コース/日本語教育学コース(修士課程)と言語科学専攻(博士課程)を置いています。それぞれのキャンパスで、大学院説明会、講演会、入学試験を実施しています。2016年、MA TESOLプログラムは、文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」に認定されました。

英語学専攻 【東京】

英語学専攻 MA TESOLプログラム 2019年4月募集

出願期間 2018年12月3日(月)～2019年1月16日(水) 試験日 2019年1月27日(日)

日本語学専攻 【千葉】

日本語学専攻 2019年4月募集

Ⅱ期 出願期間 2018年12月13日(木)～2019年1月10日(木) 試験日 2019年1月26日(土)

Ⅲ期 出願期間 2019年2月12日(火)～2019年2月21日(木) 試験日 2019年2月28日(木)

■大学院言語科学研究科 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/grad/>
 ■お問い合わせ 神田外語大学 言語科学研究科 Email : info@grad.ml.kuis.ac.jp
 英語学専攻 TEL:03-3254-3586(月・木～日 11:00～18:00)
 日本語学専攻TEL:043-273-1320(月～金 11:00～18:00)

神田外語学院(Kanda Institute of Foreign Languages)

★神田外語いしずゑ会(本人・兄弟・姉妹)入学金返還制度あり

語学力と専門スキル、そして異文化を理解する心を持ち、世界各国で活躍できる人材を育成しています。空港や、国内外のホテル、企業内英語関連部署、観光関連、児童英語教育の現場や国際ビジネスの世界で、6万人以上の卒業生が活躍しています。神田外語大学へ編入学できる唯一の専門学校です。

【2年制課程(共通科目+学科の特色あるカリキュラムで学ぶ)】

英語専攻科、アジア／ヨーロッパ言語科(フランス語コース、スペイン語コース、中国語コース、韓国語コース、インドネシア語コース、ベトナム語コース、タイ語コース)、国際ビジネスキャリア科、児童英語教育科、国際エアライン科(キャビンアテンダントコース、グラウンドスタッフコース)、国際観光科、国際ホテル科

【2年制課程(学科独自のカリキュラムで学ぶ)】

グローバルコミュニケーション科、留学科(海外大学3年次編入コース、コミュニティカレッジコース)

【1年制課程(1年間で基礎力を身につける)】

英語基礎養成科

お問い合わせ 入試センター ☎0120-815-864(フリーダイヤル) TEL : 03-3258-5838

Kuis News File

第88回外務省在外公館派遣員

第88回外務省在外公館派遣員試験に在学学生5名、卒業生5名が合格した。

今回合格した10名をはじめ、神田外語大学、神田外語学院の在学学生・卒業生53名が現在も世界のさまざまな国や地域で活躍している。今回合格した10名は以下の通り。(2018年12月1日現在)



相磯 花衣(英米語学科4年)

【派遣先】在ヒューストン日本国総領事館

富沢 菜那(国際コミュニケーション専攻4年)

【派遣先】在ミャンマー日本国大使館

名和 美羽(国際コミュニケーション専攻4年)

【派遣先】在バーレーン王国日本国大使館

平田 善福(国際コミュニケーション専攻3年)

【派遣先】在アラブ首長国連邦日本国大使館

阿久津 玲乃(スペイン語専攻4年)

【派遣先】在グアテマラ日本国大使館

澤井 志保(英米語学科2018年卒)

【派遣先】在香港日本国総領事館

石田 詩乃(英米語学科 2017年卒)

【派遣先】在チェンナイ日本国総領事館

澤田 実佳(英米語学科 2017年卒)

【派遣先】在アメリカ合衆国日本国大使館

林 来夏(英米語学科 2015年卒)

【派遣先】在バヌアツ共和国日本国大使館

野上 由佳(ブラジル・ポルトガル語専攻 2015年卒)

【派遣先】在リオデジャネイロ日本国総領事館

この外務省在外公館派遣員試験の対策を含む勉強会『 $+\alpha$ ・ $+\beta$ 』グローバル教養講座』はグローバル・コミュニケーション研究所が主催しています。在学生・卒業生の皆さんも希望する方は、いつからでも勉強会に参加可能ですので下記までお問い合わせください。

神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所 久保谷 富美男

TEL:043-273-2324 E-mail:kubotani@kanda.kuis.ac.jp

オムニバス授業「グローバル・スタディーズ」を開講

5月～12月、グローバルコミュニケーション研究所主催のオムニバス形式の授業「グローバル・スタディーズ」が開講された。この講座は、外務省在外公館派遣員試験受験希望者向けに基礎教養として実施されている『 $+\alpha$ ・ $+\beta$ 』グローバル教養講座』に各界の専門家・経験者をお招きし、一つのテーマについて多角的視点からより専門的にフォーカスし、解説をいただく内容となっている。

講師に宮内孝久学長をはじめ、吉川元偉客員教授(前国連大使)、キャリア教育センター柴田真一特任教授、ボランティアセンター篠村勉主幹をお招きするなど、多岐に渡っている。

2018年度の開講スケジュール及び講師、内容は以下の通り

【前期】

第1回 5/22(火) 3限 講師:宮内 孝久 学長

～ビジネスを通して世界80カ国を巡り巡って、その表と裏を語る～

第2回 6/7(木) 3限 講師:宮内 孝久 学長

～イスラムから見た世界～

第3回 6/13(水) 4限 講師:吉川 元偉 客員教授

～日本のかかえる外交課題～

第4回 7/4(水) 4限 講師:吉川 元偉 客員教授

～日本の国連外交における三大課題:国連PKO、安全保障理事会改革、北朝鮮～

第5回 7/12(木) 3限 講師:宮内 孝久 学長

～商社の海外投資～

第6回 7/18(水) 4限 講師:柴田 真一 特任教授

～国際ビジネス共通語としての英語とその習得方法～

【後期】

第7回 10/3(水) 3限 講師:吉川 元偉 客員教授

～SDGs達成のために、我々は何ができるのか?～

第8回 10/24(水) 4限 講師:柴田 真一 特任教授

～ビジネス英語:ビジネスeメールをやりとりするスキル(しっかり伝わるメールとは?)～

第9回 11/7(水) 4限 講師:吉川 元偉 客員教授

今年の国連総会を振り返って(トランプ大統領の国連演説を聴いて)

第10回 12/5(水) 4限 講師:篠村 勉 主幹

～スポーツと国際問題～

第11回 12/12(水) 4限 講師:柴田 真一 特任教授

～ビジネス英語:世界で活躍するために必要な教養(一目置かれる雑談力とは?)～



神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所 久保谷 富美男

TEL:043-273-2324 E-mail:kubotani@kanda.kuis.ac.jp

「日本メキシコ学生交流プログラム」でメキシコの学生と在学学生が交流

7月17日(火)、御宿町における「日本メキシコ学生交流プログラム2018」の一環として、千葉工業大学が受け入れをしているメキシコの学生10名が本学を訪問し、在学学生と交流を行った。



MULCスペイン語エリアでは、メキシコの学生とスペイン語専攻の学生が、ロッテリーア(メキシコのゲーム)や食べ物、学校生活、流行、将来といったテーマについての会話を楽しんだ。また、合気道愛好会のイペロアメリカ言語学科アルセニオ・サンス・リベラ准教授が指導による合気道の実演鑑賞と実技体験や、箏愛好会の学生による箏の演奏鑑賞と体験を行った。今回の交流を通じて、お互いの異なる文化を知り、体験できる良い機会となった。

DeeDee Trotter氏講演会「I Can. I Must. I Will」を実施

5月24日(木)、4-101教室にて、アメリカ陸上界のスーパーstar DeeDee Trotter(ディーディー・ Trotter)氏 講演会を実施した。当日は在学学生、一般、行政関係者などあわせて300名近くの方が来場した。



DeeDee Trotter氏は400mトラック選手として、2004年アテネオリンピック、2012年ロンドンオリンピックで金メダルに輝き、現在はイー・エフ・エデュケーション・ファースト(日本法人イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社/本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:サンチョリ・リー)のオリンピック・プロジェクト・アンバサダーを務めている。

講演会はすべて英語で実施され、本学英米語学科の矢頭典枝教授と英米語学科3年の柴田三揮さんが司会を務めた。彼女のモットーである「I Can. I Must. I Will.」(私はできる、私はやらなくては、私はやる。)と題する講演会で、困難へ立ち向かう姿勢や経験、またチャレンジを続けることへの強い想いが語られた。

「英語教育公開講座2018」開催

神田外語グループが開講する「英語教育公開講座2018」が7月28日(土)、7月29日(日)の2日間、姉妹校・神田外語学院で行われた。英語教育公開講座は、英語教員、英語教育関係者や英語教育に関心のある方を対象にして、英語教育に関する講座を開講している。当日は台風の影響で欠席者が多数となりながらも、1日目には140名、2日目には176名が参加し、2日間合計で316名の参加があった。



今年は「Cutting Edge of English Education / 英語教育の最先端」をテーマとし、近年の英語教育を取り巻く環境の変化への対応にいち早く取り組んでいる例を集めたいという思いが込められている。

基調講演では、東京都千代田区立九段中等教育学校英語科教諭でELEC同友会英語教育学会常任理事の岩瀬俊介先生にご講演いただき、「英語4技能指導の方法と考え方」というタイトルで現役の先生方がもっとも苦労している「授業の中でどのように話す訓練をさせるか」の方法論についてのお話をされた。

午後からは、2020年の学習指導要領改訂を前に、「中学・高校の現役教員による実践講座」や「学習活動のアイディア」などの5つのカテゴリからなる、近年注目を集める種々のテーマを扱った講義形式の講座と体験授業が開かれた。

2日間を通して、参加者からは「非常に充実していた」との声が多く寄せられ、好評のうちに終了した。

国際コミュニケーション専攻3年の周梅さんがチーバくん大使に任命

6月12日(火)、千葉県庁本庁舎多目的ホールにて「チーバくんと共に千葉県の魅力を海外に向けて発信する大使(略称:チーバくん大使)」の任命式が行われた。



森田健作知事からの激励のあいさつの後、中国、香港、アメリカ、ベトナム、インドネシア、台湾、ネパール、スリランカ、タイ、韓国、ロシア出身の大使20名へチーバくん大使任命状が手渡された。本学からは中国出身の周梅さん(国際コミュニケーション専攻3年)が選ばれた。周梅さんは大使としてブログやFacebook、微信等のSNSを通じて、千葉県の魅力(観光、食、日常生活など)を母語で発信する活動に取り組んでいく。



「KUISふるさと会2018」を開催

6月20日(水)、3号館2階の教室において「KUISふるさと会2018」が教務部学生課の主催で開催された。本学同窓会の協力により参加者には昼食のほか、ご当地銘菓が用意された。

今回は、東日本出身者と西日本出身者合同のふるさと会で、学生14名と教職員6名の合計20名が参加。同郷の先輩・後輩・教職員がテーブルを囲んでお弁当を食べ、自己紹介やご当地自慢話に花を咲かせた。

本会は、本学に在籍する学生・教職員、そして卒業生で同じ都道府県出身者同士が相互交流することに加えて、新入生の入学を歓迎し、大学生活がより豊かなものとなるように支援することを趣旨として開催されている。今後は、学生主体のサークル活動への発展をめざし、引き続き支援を行っていく。



宮内学長一行が韓国の大学を訪問

宮内孝久学長一行(ロバート・デシルバ副学長兼国際コミュニケーション学科教授、朴シウォン英米語学科教授、松下学事部長、松戸学長室長)が、5月31日(木)から6月1日(金)にかけ、韓国の又松大学校(テジョン市)と韓国外国語大学校(ソウル市)・西江大学校(ソウル市)を訪問した。又松大学校では、金理事長、エンディコット総長をはじめとする関係者に出迎えられた。同大学校とは、ダブルディグリープログラム(相互の大学で2年+2年学び、所定の条件を充足すれば、それぞれの大学から学位が発行されるプログラム)を実施しており、今回、表敬はもとより、今後の更なる関係強化について話し合いをもつとともに、現地へ留学中の本学学生に面会することができた。

又松大学校同様、国際協定校の韓国外国語大学校では、金副学長(国際交流担当)や崔英語通訳翻訳学科長にお会いし、通訳・翻訳プログラムを中心に、話を伺った。西江大学校では、朴学長や安副学長(国際交流担当)を含む関係者と面談する機会をもつことができ、今後の大学間交流の可能性や大学の国際化教育などについて意見交換を行った。

いずれの大学も、韓国において、先進的な取り組みを行っており、本学の将来を考えるうえで、大変有意義な訪問となった。



協定校ケベック大学モントリオール校の学長一行が本学を訪問

2018年6月5日(火)、本学協定校ケベック大学モントリオール校(カナダ・ケベック州、フランス語表記: Université du Québec à Montréal、以下UQAM)よりマグダ・フサロ学長一行が本学に来訪され、カナダ留学を希望する学生に対する学校説明会の後、宮内学長を表敬訪問された。歓談の内容は多岐にわたったが、UQAMと本学の良好な協力関係を再確認するとともに、引き続き学術交流を発展させていくための意見交換が行われた。

その後、学内施設をご案内した際には、8号館で英語を使って積極的に会話をする学生や、MULCで留学生と楽しそうに交流する学生の様子にとっても感心されていた。



神田外語グループとJR東日本が包括的連携に関する協定を締結

神田外語グループと東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長深澤 祐二/以下「JR東日本」)は、9月21日(金)に地域貢献と人材育成を推進することを目的として、包括的連携に関する協定を締結した。

1 連携の目的

神田外語グループとJR東日本は、これまで人材育成の面からさまざまな協力を相互に行ってきた。これまで培ってきた両者の協力関係を更に発展させ、相互に緊密に連携することにより、双方の資源を有効に活用し、地域社会に貢献していく。

2 具体的な連携事項

神田外語グループの学生の教育機会拡充や言語・異文化知見の共有等およびJR東日本グループのインバウンド対応強化、グローバル展開等に向け、協働していく。

具体的には、駅というJR東日本グループのもつ資源を最大限に活かし、神田外語グループの学生に体験型教育の機会を拡充することにより、訪日外国人のお客さまへのご案内のさらなる充実を図る。また、神田外語グループのもつ語学教育における研究成果を活かし、JR東日本グループ社員の言語・異文化コミュニケーション能力の向上を図っていく。



アジア各国で同窓会を開催

神田外語大学同窓会は、今年も海外での同窓会「KUIS FRIENDSHIP PARTY 2018」を開催した。

8月11日(土)にはインドネシア及びマレーシア、8月18日(土)は台湾、8月23日(木)はベトナムのホーチミン及びハノイの2都市、8月25日(土)はタイで実施。マレーシアは、今回2回目の開催となった。

現地で働く卒業生のほか、留学中の学生や本学の教職員、国際協定校の元留学生などが一堂に会し、交流を深めた。また、現地でインターンシップに参加中の在学生も参加し、海外で働く卒業生たちの話に耳を傾けていた。

各国の参加者数は、インドネシア54名、マレーシア16名、台湾30名、ベトナム33名(ホーチミン18名、ハノイ15名)、タイ44名の5カ国・地域で計177名と、今年も多くの人数が集まった。

海外各国における本学卒業生のネットワークは年々広がりを見せており、学生にとっても縦の繋がりが作れる非常に貴重な場となっている。



「第7回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」を開催

12月1日(土)、「第7回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」(主催:神田外語グループ、読売新聞社)が開催され、各地の大学、大学院、短大、専門学校等165校から759名の応募があった。当日は1次予選を通過した学生の中から324名が姉妹校・神田外語学院(東京・神田)に集まり、2次予選を競った。

第7回大会のテーマは、1.「地球を守れ!環境教育の新しいプログラムを提案」、2.「外国人観光客に日本の夜の魅力をアピール!」、3.「アジアの特産物を欧米に売り込め!」の3つで、制限時間10分の中でそれぞれのアイデアを審査員にアピールした。そして個人の部から5名、グループの部から5組12名、合計17名が、同日より大手町ホール(東京・大手町)にて行われた決勝戦へと進んだ。決勝戦会場では、2次予選のライバルだった参加者や来賓の方々など大勢が見守る中、決勝進出者によるプレゼンテーションが繰り広げられた。

審査は、「内容」「構成」「口頭発表力」「説得力」「質疑応答」の各スコアで総合的に判断され、今年度、最優秀賞の文部科学大臣賞に輝いたのは、上智大学の平直央さん、奥はんなさん、国際基督教大学の江島恵莉さんのグループだった。テーマ1を取り上げ、「Zero Waste Camping」と題する子供たちに向けた環境教育プログラムを提案し、見事に栄冠を手にした。最優秀賞として、文部科学大臣賞状の他、副賞として奨学金100万円、ANA国際線(米国線)往復航空券、AOKI商品券5万円分、ジャパン・ニュース購読(半年分)、などが贈られた。



後援: 文部科学省 / 外務省 / 米国大使館 / 一般社団法人国立大学協会 / 一般社団法人公立大学協会 / 日本私立大学団体連合会 /

一般社団法人全国外国語教育振興協会 / 公益社団法人東京都専修学校各種学校協会

協賛: 株式会社共立メンテナンス / イオン株式会社 / 株式会社みずほ銀行 / 三菱商事株式会社

特別協力: ANA / 株式会社AOKI / 公益財団法人イオン環境財団

協力: 観音温泉 / 株式会社三京エンタープライズ

JKT48及びBNK48から本学に日本語短期留学を受け入れ

9月17日(月)から10月15日(月)までの1ヶ月間、AKB48の海外姉妹グループの日本短期留学が行われ、本学で日本語学習及び寮生活を送った。来日したのはインドネシア・ジャカルタのJKT48ステフィさん(17)と、タイ・バンコクのBNK48モパイルさん(16)の二人。9月上旬に、「日本インドネシア国交樹立60周年親善サポーター」として交換留学が発表されていた。

AKB初の海外姉妹グループとして2011年に結成されたJKT48は、現地でも国民的アイドルグループとして数々のCMに出演するなど活躍。ステフィさんとモパイルさんは、毎日本学で日本語の授業に参加し、劇場で日本語のMCを披露できる程の力をつけた。インドネシア語専攻・タイ語専攻の学生を中心に交流を深めたほか、本学の寮に滞在しカレーライス作りに挑戦したり、日本各地のイベントに参加するなど留学生生活を満喫した。

留学中の模様は、東南アジア各国の日本紹介番組(WAKUWAKU JAPAN)で放送されるほか、国内でもスカパー!で放送される。



弁論大会・スピーチコンテスト

※学年は受賞時のもの

「第12回インドネシア語スピーチコンテスト」 [7月21日(土)]

「第12回インドネシア語スピーチコンテスト」が本学ミレニアムホールにて開催された。「Hal-hal Penting untuk Memantapkan 60 Tahun Hubungan Diplomatik antara Jepang dan Indonesia」(日本インドネシア国交樹立60周年にあたり、両国関係強化にとり重要なこと)をテーマに計7大学より35名(社会人含む)が出場した。見事、在学生の藤井温美さん(カテゴリーC)が総合最優秀賞、同じく在学生の濱町航太さん(カテゴリーA)が特別賞を受賞した。

休憩時間には本学の愛好会ムルデカによるバリ舞踊音楽のガムラン演奏が披露され、会場は大いに盛り上がった。

■受賞者
【総合最優秀賞】
藤井 温美 (神田外語大学 カテゴリーC)

【特別賞】
濱町 航太 (神田外語大学 カテゴリーA)

【カテゴリーA(1,2年生の部)】
最優秀賞 1位 竹井 鍊弥 (中央大学)
2位 尾形 美里 (中央大学)
戸谷 駿佑 (早稲田大学)
増木 帆乃 (東京外国語大学)

【カテゴリーB(3,4年生の部)】
最優秀賞 1位 筧 紗也子 (神田外語大学)
2位 渡部 亮 (神田外語大学)

【カテゴリーC(インドネシア語圏6か月以上滞在経験者)】
最優秀賞 1位 吉永 真衣夏ジャネシィ (神田外語大学)
2位 岡野 優奈 (東京外国語大学)

【カテゴリーD(社会人・一般の部)】
最優秀賞 1位 古信 宏一

【後援】インドネシア共和国大使館
【参加校】(五十音順) 大阪大学、神田外語大学、慶應義塾大学、上智大学、中央大学、東京外国語大学、早稲田大学



「第35回全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会」 [10月6日(土)]

「第35回全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会」において、本学からも学生が参加し、優秀な成績をおさめた。本学の学生は、2002年～2018年開催の「全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会」において、17年連続で千葉県知事賞(優勝)を獲得している。

■受賞者
スピーチの部 【千葉県知事賞(優勝)】
畔蒜 香純 (中国語専攻4年)

朗読の部 【船橋市長賞】
佐藤 直央 (中国語専攻1年)
【柏市長賞】
柴橋 侑奈 (中国語専攻1年)



「第12回ベトナム語スピーチコンテスト」 [11月3日(土)]

「第12回ベトナム語スピーチコンテスト」が本学ミレニアムホールにて開催された。高校、専門学校、大学など9校から23名が出場し、カテゴリーAは課題詩「帆」または「ふるさと」からいずれかを選んでの詩の朗読、カテゴリーBからEはテーマ「ベトナム-私にとって特別なこと」または「ベトナムと私-初めての出会い」からいずれかを選んでのスピーチを行った。

休憩時間には在学生による伝統舞踊やベトナム民族衣装のファッションショーやトルン演奏、留学生による歌が披露され、来場者は伝統文化を楽しんだ。

■受賞者
【最優秀賞(スピーチ部門:カテゴリーB～E)】
藤内 志穂 (大阪大学:カテゴリーD)

【最優秀賞(朗読部門:カテゴリーA)】
山崎 瞭子 (東京外国語大学)

【カテゴリーA(詩の朗読部門)】
1位 石川 和宏 (亜細亜大学)
2位 佐藤 葵 (大阪大学)
2位 澤田 創芽 (大東文化大学)
3位 玉村 隆 (大阪大学)

【カテゴリーB(2年生のスピーチ部門)】
1位 浜崎 紗英 (大阪大学)
2位 梅原 芽衣 (神田外語大学)
2位 青木 斗夢 (大東文化大学)
2位 小林 俊介 (大阪大学)
3位 ※該当無し

【カテゴリーC(留学経験未経験者 3・4年生のスピーチ部門)】
1位 野谷 未紀 (神田外語大学)

【カテゴリーD(留学経験者 3・4年生のスピーチ部門)】
1位 ※該当無し
2位 和田 涼子 (神田外語大学)

【カテゴリーE(ベトナム人の親を持つ学生の部門)】
1位 レ・ゴック・ヴィ (神田外語大学)



神田外語大学名誉教授 故 石井米雄著『英語の語源』が8月24日に刊行

本学の第3代学長を務められた石井米雄名誉教授が学長在任中から大学のホームページに連載していたエッセイ「語源の楽しみ」をひとつにまとめた『英語の語源』が角川ソフィア文庫より8月24日に刊行された。本書は2011年、出版社めこんより刊行された『語源の楽しみ』を改題し、文庫化したものになる。

昨今の外国人訪日観光客の増加、国際的なスポーツイベントの開催、小学校英語科目の導入など、国内における「英語」への関心が高まっていることから、英語の語源を短い文章でわかりやすく説明している本書が再び注目され文庫化されることとなった。

本書は「spring」に「春」「ばね」「泉」の異なる意味があるのは、なぜなのか? 「B.C.と A.D.は何の略なのか?」「シンポジウムは、もともと「飲み会」という意味だった」など、身近な単語の由来を掘り下げることで、英語の意外な歴史にふれるきっかけを作ると同時に、ポキャブラリーが芽づる式に増えていく記憶術としても活用できる。9言語に精通する達人であった本学の石井米雄名誉教授のエッセイ全113話を収録している。



著者: 石井米雄(名誉教授)
判型: 文庫判
頁数: 256 頁
定価: 本体 920 円+税
発行: 株式会社 KADOKAWA (角川ソフィア文庫)
ISBN: 978-4-04-400427-9

2,3年保護者対象懇談会を開催

11月11日(日)、本学を会場に2,3年生保護者対象の懇談会が開催された。当日は150名ほどの保護者が参加。全体会の後学科別の教室に分かれ、留学や就職、学科教員の話にそれぞれ耳を傾けた。学科別説明会後半の時間帯には8号館ツアーも実施され、希望者は学生スタッフの案内で8号館を見学した。

すべての会終了後は場所を本学アジア食堂「食神」へ移し、懇親会を実施。本学ならではのアジア料理を堪能しながら、参加者は普段直接話をする機会が少ない学長、理事長や教職員と交流を深めていた。



必読! KUIS教員執筆の一冊

『障害者と笑いー障害をめぐるコミュニケーションを拓く』

「障害者を笑ってはいけない」「障害者が人を笑わせることはできない」など、障害者と笑いとはもっとも結びつきにくいテーマである。しかし、この「常識」に根拠はあるのか。「笑い」という社会的営為を手がかりに、『バリバラ』などのバラエティ番組を取り上げて、「差別から自由」なコミュニケーションの可能性をさぐる。(帯文より)

著者: 塙幸枝(国際コミュニケーション学科専任講師) 定価: 本体2,000円+税
判型: 四六判並製 発行: 新曜社
頁数: 256頁 ISBN: 978-4-7885-1590-1



『連続講義「食べる」ということー「食」と「文化」を考える』

「食べる」ということは人間が生きるうえでの基本的な行為だが、それには栄養を摂ること以上の意味がある。普段何気なく行っている「食べる」という行為も、文化という視点から見ると、これまで見えなかったものが見えてくる。いつ、どこで、誰と、何を、どのように食べるのか。本書は、文化研究に携わる13名の神田外語大学の教員が、日本と世界の個性的な食文化を紹介する。

編者: 神田外語大学 発行: 神田外語大学出版局
判型: 四六判並製 頁数: 172頁 発売: ぺりかん社
定価: 本体1,200円+税 ISBN: 978-4-8315-3012-7



『英文法授業ノート』

入学前課題 Grammar Notebookのアップグレード版。タイトルに「授業ノート」とある通り、英文法を一から学ぶ参考書というよりも、教室での「授業」における板書や解説を学生が自分でまとめた「ノート」をイメージした構成となっている。【要点】を確認し、【例文】とそれぞれ横に添えてある【ワンポイント解説】に目を通しながら英文を書き込んで完成させていく。流暢さだけでなく、正確さを高める学習の機会を大切にす人のための一冊。

著者: 北村孝一郎(国際コミュニケーション学科専任講師) 発行: 神田外語大学出版局
判型: A4判並製 頁数: 224頁 発売: ぺりかん社
定価: 本体1,000円+税 ISBN: 978-4-8315-3011-0



「神田外語進学アドバイザー」 新規スタッフを募集

神田外語大学・学院では全国高校向けの広報活動をより充実させるべく、お住まいの地域周辺の高校を訪問し、教員や生徒に大学、学院の紹介を行う「神田外語進学アドバイザー」を募集しています。

1994年にスタートした制度で、現在、福島、栃木、群馬、埼玉、茨城、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡、新潟、富山、福岡地域にて、計46名のスタッフが活動しています。

今回、以下の地域の方を特に募集いたします。

山梨県、栃木県宇都宮市以北、新潟県、群馬県、東京都(世田谷区、杉並区、中野区)

〔応募資格〕

- 神田外語大学・神田外語学院をご卒業後、3年以上の職務経験がある60歳未満の方。
- 平日の昼間に高等学校への訪問、ガイダンス参加が可能であること。
- 進学アドバイザーとして指定の研修(年6～7回、平日10:30～15:30神田開催(但し春1回のみ土日で大学にて実施))に参加可能であること。
- 基本的なPC操作(インターネット、メール、Word、Excel)ができること。
- 日常会話程度の英語力があること。
- 自宅PCやスマートフォンにてPDFファイルを確実に閲覧できること。

その他詳細はお気軽に下記問い合わせ先までご連絡いただくか、同窓会Facebookページ(<https://www.facebook.com/kuisalmn/>)をご覧ください。
ご興味がある方は必要事項(氏名(フリガナ)、既婚の方は旧姓、卒業年及び学科・専攻、現住所、電話番号)を記入し、下記問い合わせ先(担当:広報部白方)までメールにてご連絡ください。

応募締切: 2019年1月7日(月)

お問い合わせ先 神田外語大学 広報部 進学アドバイザー募集係(担当:白方(しらかた))
〒261-0014 千葉県美浜区若葉1-4-1 TEL:043-273-2826 / FAX:043-273-2988
E-mail: asiraka@kanda.kuis.ac.jp

※ご記入いただく個人情報、は神田外語進学アドバイザー担当、及び神田外語グループからさまざまご連絡をする目的にのみ使用いたします。

～Go Forward～ 2019年以降の神田外語大生のキャリア構築と 就職活動について

キャリア
Now!

【これからの就職活動のスケジュールは早期化するのか】

2018年10月に日本経団連による就職採用活動指針の廃止が発表され、それを受けた政府は素早く就職・採用活動の日程を検討する関係省庁連絡会議を開き、現在の大学2年生が該当する2021年春の新入社員については、これまで経団連が示してきた日程を継続することが正式に決まりました。また、現在の1年生が対象の22年春入社以降も当面は現行日程を維持する方向です。簡単に言えば当面、就職日程については学生が4年生になる直前の3月から企業の会社説明会、面接などの活動は4年生の6月解禁を継続というのは変更がないことになります。しかしながら一方でこのスケジュールを守らなかったとしても罰則等はないということになっています。

【企業はこの日程を守るのか】

当面は現在の就職活動スケジュールの継続ということになり、学生と保護者の皆さまの関心は「果たしてこのスケジュールは守られるのか?」というところかと思いますが、結論から言うと、今後このスケジュールを守らない企業は現状よりも多くなるでしょう。特に、4年生の6月から面接解禁というスケジュールは有名無実化するのではないか。

【神田外語大生はどのように対策をするべきか】

では本学の学生は就職活動を含め卒業後の自身の進路をどのように決めていくべきなのか。就職スケジュールが早期化することを念頭に置きながら、大学1～3年生の3年間は大学の授業と研究、課外活動にひたすら打ち込むことが結局のところ就職内定への近道であるだけでなく、社会人としてのキャリアを長く生き抜く道になるので

はないかと思います。

【人生100年時代を生き抜ける可能性が非常に高い神田外語大生】

現在の雇用制度では企業に対し、本人が希望すれば65歳まで雇用することを義務付けていますが、少子高齢化による生産人口の減少に対応するため、70歳までの雇用についての法制度化を今後政府等で議論していくようです(2018年11月時点ではまだ決定したことはありません)。これに付随して年金受給開始年齢の引き上げも議論されるということは、恐らく65歳以上も働き続けなければならないのは間違いのないでしょう。

本学での4年間の学びだけをもとに22歳から70歳までの48年間を社会人として生き抜くのは容易ではありませんが、私は神田外語大生のこれからの少子高齢化社会を生き抜く可能性について前向きに考えています。何故なら、本学で培った「自立学習」という学びの習慣化は卒業後、社会人になってもポータブルに持ち運べるスキルであり、これを武器にすればこれからの社会を生き抜くことができると考えているからです。この自立学習のスキルは、社会では語学学習以外の用途で使うことになるかもしれませんが、ある人はITスキルを学ぶことになるかもしれませんが、またある人は経営について学ぶことになるかもしれません。どのような学習であっても自立学習習慣を身につけた本学の卒業生は、きっと成果が出せるのではないかと考えています。

【在学中に取り組んでほしいこと】

そのために神田外語大生は(1)専攻語を含めた大学の授業科目の学習に打ち込む(2)英語専攻以外の学生は英

語の学習に取り組む(3)休業期間に行われる留学、短期研修、ボランティア、インターンシップなどの活動については参加申込の機会を失うことのないようアンテナを張ってチャレンジしていく。この3つに取り組んでいくことが必要だと考えています。いわば簡単にいえば、「大学で行われる授業・プログラムを使い倒し、自分のものにしていこう」ということです。

【企業・社会はどのような人材が欲しいのか】

話は戻りますが、企業は一体どのような人材が欲しいのか。結局は大学でしっかりと学び、その企業に入って長く活躍をすることが出来る人材を必要としているのだと考えます。決して、学びが不十分だが早めに就職活動を始めた学生、ではありません。

【在学生へのメッセージ】

神田外語大生には、本学での学びを基礎に社会人として自分と周囲の人を大切にすると同時に、身近な地域や社会を仕事という手段を通して良くしていくことができる人材になってほしいと思います。神田外語大生が世界のあらゆる場所で仕事を通して世界や地域を良くしていく未来を想像しています。

そのために企業側の都合による就職活動スケジュールの早期化に惑わされることなく、特に1年次から3年次までは大学での学びを大切にしてほしいと思います。

主要内定先企業一覧(抜粋、順不同、2018年11月現在)

【製造・建設】穴吹興産(株)／いすゞ自動車(株)／岡部(株)／河西工業(株)／キーコーピー(株)／(株)キッツ／(株)シード／積水ハウス(株)／太平電業(株)／(株)ツムラ／東洋水産(株)／日東工器(株)／日本電設工業(株)／(株)日本アーク／日本航空電子工業(株)／富士通(株)／双葉電子工業(株)／日本精機(株)／原田工業(株)／(株)重松製作所／日東ベスト(株)／Mipox(株)／(株)高研／(株)奈良機械製作所／HARIO(株)／日立オートモティブシステムズ(株)／ビューテック(株)／三井不動産リフォーム(株)／三菱ケミカル(株)／(株)ミヤコシ【**商社・卸売・小売**】(株)IDOM／(株)エクセル／エレマテック(株)／国際紙パルプ商事(株)／サンワテクノス(株)／(株)シーボン／(株)資生堂／シナネンホールディングス(株)／(株)JALUX／トラスコ中山(株)／(株)日伝／(株)ビックカメラ／三谷産業(株)／菱洋エレクトロ(株)／(株)リョーサン／ナラサキ産業(株)／イオンリテール(株)／伊藤忠オートモービル(株)／(株)エービーシー商会／(株)NAAリテイリング／エノテカ(株)／KISCO(株)／(株)QVC ジャパン【**運輸・物流・航空・空港**】日通NECロジスティクス(株)／羽田空港サービス(株)／(GS)／(株)日立物流バンテックフォーワーディング／フェデラルエクスプレスコーポレーション／(株)ホンダロジスティクス／名鉄観光サービス(株)名鉄国際貨物カンパニー／郵船ロジスティクス(株)／ユニトラנס(株)【**旅行・ホテル**】(株)エイチ・アイ・エス／(株)共立メンテナンス／リゾートトラ

スト(株)／(株)JACETラベル／(株)アゴーラ・ホスピタリティーズ／(株)オークラ ニッコー ホテルマネジメント／クラブツーリズム(株)／(株)グランベルホテル／(株)ザ・マンハッタン／(株)ジェイアール東海ツアーズ／(株)芝パークホテル／シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル／スターツホテル開発(株)／住友不動産ウィラフォンテス(株)／(株)東京ドームホテル／東京ベイヒルトン(株) (ヒルトン東京ベイ)／(株)東京ベイ舞浜ホテル／東武トップツアーズ(株)／日新航空サービス(株)／日本ヒルトン(株) (ヒルトン東京)／(株)パレスホテル／(株)プリンスホテル／(株)星野リゾート・マネジメント／(株)ホワイト・ベア・ファミリー／三日月グループ／(株)三井不動産ホテルマネジメント／三井不動産リゾートマネジメント(株) (ハレクラニ沖縄)／(株)ミリアルリゾートホテルズ／(株)ユナイテッドツアーズ【**サービス**】イオンモール(株)／エン・ジャパン(株)／スターツコーポレーション(株)／楽天(株)／アデコ(株)／(株)イーオン／(株)ECC／ANAテレマート(株)／埼玉県教員／千葉県教員／千葉県教員(中学校)／警視庁／千葉県警察／船橋市役所【**在外公館**】在グアテマラ日本国大使館／在バーレーン日本国大使館／在ヒューストン日本国総領事館／在マンマール日本国大使館 ほか



神田外語 キャリアカレッジ



<英語通学講座>

受講生(1・4・7・10月期)募集中! KUIS卒業生特典: 入学金免除・受講料半額

【英語で学ぶビジネスと教養】 Plain Englishで楽しみながら雑談力を身に付ける。

【コミュニケーション強化コース】 基礎からの体系的な英語の学び直しや総合的なコミュニケーション力の強化を目指す。

【TOEIC®対策コース】 自分の弱点を確認し、テスト対策や演習を通じて目標スコアを達成を目指す。

【ビジネススキル強化コース】 ビジネスの場で求められる実践的なコミュニケーションスキルを目的別に習得する。

コース詳細: <https://www.kandagaigo.ac.jp/kgcc/private/>

お問い合わせ・資料請求・無料体験レッスン

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-13-9 神田外語本部ビル3階 神田外語キャリアカレッジ 通学講座担当三好・柴山
電話:03-3254-7100 Email:kgcc@kifl.ac.jp TEL受付時間: 月～金10:00～18:00



1月コース
(3ヶ月)
1/26 ~
3/23

週3日通学・昼夜コース有
会場: 神田外語学院

こども英語指導者の資格を短期で取得!

児童英語講師 養成講座

J-SHINE(小学校英語指導者認定協議会) 認定 資格取得講座

理論と実技を
バランスよく学べる
実践型講座!

安心の振替システム有!
ライフスタイルに合わせて
受講が可能

キッズクラブの
講師として活躍中の
修了生多数!

講師として活躍中! 先輩受講生の声

以前は別の業界で仕事をしていたのですが、英語を使わない仕事に「何が違う…」という気持ちがある日々。そんな頃に講座の存在を知り、思い切って受講した事が今のキャリアに繋がっています。日々子ども達の英語学習における成長を目の当たりにすると何とも言えない喜びがあり、最初は何気なく受講した講座でしたが、今では生き甲斐といってもいい仕事に出会ったのと同じような気持ちで受講しています!

講座修了生 佐藤絵理子先生
(英米語学科卒業生)

KUIS
ご卒業生
在学生特典

入会金無料
受講料 15%OFF

無料講座相談会実施中! 月～土予約制
会場: 東京都
ちょっとした疑問・質問に講師がお答えします!
まずはお気軽にお問い合わせください。

相談会ご参加特典
指導用 SONG CD の
お試し版をプレゼント!



神田外語グループ ▼お問い合わせ・資料請求・講座担当講師による「無料個別相談会」のご予約はこちら▼
神田外語キッズクラブ ☎0120-154-815 神田外語キッズクラブ 検索
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-13-9 神田外語本部ビル4F(受付9:30~18:00/日祝除く)



神田外語 EXTENSION

卒業生特別割引アリ

ビジネス英語力が必要な社会人向け 平日夜間・土曜午後 コース(振替可)

対象 本気でビジネス英語力を身につけたい社会人の方 ★英語上級者の方に特にオススメです。

6ヵ月集中ビジネス英語 強化プログラム

入会金: 32,400円(消費税込)

受講料: 356,400円(消費税込)

卒業生

入会金: 無料

受講料: 285,120円(消費税込)

コースは3レベル
(コース) S A B
(TOEIC) ← 800 → 600 →

オンライン動画学習
(週2本×24週間)

対面授業(120分@KIFL)
(週1回×24週間)

※日本人講師(12回)と外国人
講師(12回)が交互に担当

オンライン英会話
(週2回×24週間)

「無料説明会」開催中!

詳しくは
神田外語エクステンション 検索

【お問い合わせ】 神田外語Extension事務局
〒101-8525 東京都千代田区内神田2-13-13
TEL:0120-655-055(10:00~18:00 ※日・祝日を除く)
E-mail:extension@kandagaigo.ac.jp URL:<https://www.kandagaigo.ac.jp/extension/>

神田外語が主催!

高校生や大学生等が日頃の学習成果を発揮できる機会として、各方面におけるコンテストを本学と神田外語グループが主催している。ここでは、東南アジアの記事について考えを述べる「第2回高校生東南アジア小論文コンテスト」授賞式と、全国12都市で開催された「ラグビーワールドカップ2019™国際交流入門講座」の様態をレポートする。また、高校生を主な対象として実施している、高等学校へ出向いて本学の模擬授業を行う「出張授業」や、高等学校の単位で本学を見学する「団体見学」等も紹介する。

「第2回高校生東南アジア小論文コンテスト」

10月27日(土)、「第2回高校生東南アジア小論文コンテスト」の授賞式が7号館3階KUIS Caféで行われた。このコンテストは、共同通信社の取材によるインドネシア、ベトナム、タイに関する記事と写真をテーマに、全国の高校生が1,000～1,200字の小論文にまとめるもの。昨年を上回る1,231作品が寄せられた今年、最優秀賞に輝いた田中陽帆さん(神戸女学院高等学校1年:タイ部門)は、表彰式後のインタビューで、家族旅行で訪れた際の経験と事後学習の成果が受賞に結びついたと語った。このように、小論文作成のための情報収集や自主学習をとおして、発展著しい東南アジアへの興味を深めていく高校生が増えていくことが、コンテスト自体の発展にもつながっていく。



「ラグビーワールドカップ2019™国際交流入門講座」を開催

この夏、東京、釜石、熊谷、大分、福岡、横浜、大阪、熊本、神戸、名古屋、静岡、札幌(12月開催)の全国12都市で高校生を対象とした「ラグビーワールドカップ2019™国際交流入門講座」が開催された。この講座の主催は全国外大連合(関西外国語大学、神田外語大学、京都外国語大学、神戸市外国語大学、東京外国語大学、長崎外国語大学、名古屋外国語大学)、共催は公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会。2019年9月から開催されるラグビーワールドカップ2019™日本大会を前に、ラグビーへの関心、理解を深めるとともに、外国語によるコミュニケーション能力や外国人への「おもてなし」の心をもった人材を育成することを目的に開催された。

講座は「ラグビーの楽しみ方」「ラグビーワールドカップの理解」「ラグビー基礎知識講座」といったラグビーへの理解を深めるものと、「おもてなしの英語」「緊急時の英語対応」「世界の英語」「ネイティブから学ぶ英会話のコツ」など、おもてなしや英語を学ぶ内容で構成された。参加者からは「ラグビーの事を今まで以上に知ることができ、今まで経験したことのない授業に参加できて本当に良かった」「外国人の先生とたくさん話せて、とても楽しかった」「今後のボランティア活動に役立てたい」などの感想が寄せられた。



高校単位による見学会の実施

本学では高等学校単位による見学会を実施している。今年度は50件以上の高校からの申し込みがあり、関東圏を中心に計1,500名以上の高校生およびその先生方が本学を見学している。団体見学では職員のみならず在生も参加し、単なる施設見学ではなく在生学生の雰囲気や大学の様子まで伝わるものとなっている。主なコンテンツは次の通りとなる。

- ①大学紹介DVD上映 ②職員・在生による大学概要説明
- ③在生によるキャンパスツアー ④学食利用体験

時間としては1.5～2時間(学食を利用する場合は食事の時間を追加)となる。



高校生向け出張授業の実施

本学では高校やガイダンス業者の依頼により、本学で実際に行われている授業の雰囲気を感じていただくという趣旨で出張授業を実施している。

主にはすべての学科で必修として学が英語の授業を提供することが多く、高校の要望により50分～90分間で実施している。授業はすべて英語で行われ、生徒同士英語で実際にコミュニケーションを取ることを体験していただく。

出張授業を受講したことをきっかけに本学に興味をもち、オープンキャンパスへの参加や志願につながることも多く見受けられる。

授業は他にも「外務省在外公館派遣員制度について」「中国語」「国際ネゴシエーションゲーム」「通訳・翻訳」「言語学」などの内容で実施実績がある。



【メッセージ】

大学報をご覧いただいている皆さまのなかには本学の見学会や出張授業を実施・検討されている方もいらっしゃるかと思います。この場を借りて、あらためて御礼申し上げます。高校生の皆さまの進路選択の一助となれるよう誠心誠意、担当させていただきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。なお高校単位による見学会については下記URLからお申し込みが可能です。

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/opencampus/group/>
神田外語大学HPトップ→中段「オープンキャンパス・学内見学」→団体見学(高等学校単位)
出張授業については、お電話にてお問い合わせください。

(043-273-2826 広報部)

(※学内行事、他業務等でお受けできない場合もございます。何卒ご了承ください。)



神田外語大学×野いちご 小説コンテストを開催

ケータイ小説サイト・野いちごと神田外語大学のコラボ企画「夢のキャンパスコラボ」と題した小説コンテストとSSコンテストが2018年7月～9月の期間で開催された。

小説コンテストは「神田外語大学で過ごす、夢のキャンパスライフ」をテーマとした1万字以内のオリジナル作品を募集し、68作品の応募があった。その中から、最優秀賞1作品と優秀賞2作品が選ばれ、見事最優秀賞を獲得した作品はオリジナルブックレット化され、作者にはブリティッシュヒルズペア宿泊券と図書カード3万円分が贈られた。表紙は人気イラストレーター・ふすいさんが描き下したイラストが使用された。オリジナルブックレットは神田外語大学で配布している。

SSコンテストは「素敵な出会い～神田外語大学のオープンキャンパス～」をテーマに400字以内のショートストーリーを募集し、応募総数190作品の中から、最優秀賞1作品が選ばれ、作者には図書カードが贈られた。



British Hillsからのご案内

冬のお得な
宿泊プランのご案内

- 料金:おひとり様 ¥20,000～(1泊2食付・税サ込)
- 期間:2018年12月24日(月)～2019年3月31日(日)

★この冬もブリティッシュヒルズを満喫!

冬のブリティッシュヒルズは一面銀世界となり、他の季節とはまた違った表情を見せます。お得なウィンター料金で幻想的なブリティッシュヒルズのご滞在をお楽しみください。皆さまのお越しをお待ちしております。



上記以外にも各種プランをご用意しております。詳しくはホームページをご覧ください。

ご予約・お問い合わせ ブリティッシュヒルズ ☎0120-131-386 (フリーダイヤル)

ホームページ <https://www.british-hills.co.jp/>

お問い合わせ一覧 各部署へ直接お問い合わせください。

■受付時間

平日	土曜日
9時00分～11時10分 12時10分～17時15分	9時00分～11時30分

※12月22日(土)から1月6日(日)は、冬季休業期間とさせていただきます。

お問い合わせ内容	部署名	電話番号
科目履修、成績	教務課	043-273-1320
留学	国際交流課	043-273-1615
学生生活や奨学金、各種証明書	学生課	043-273-2948
就職、進路	キャリア教育センター	043-273-1598

お問い合わせ内容	部署名	電話番号
学生相談、カウンセリング	メディカルセンター	043-273-1495
授業料の納入	総務部	043-273-1322
図書館の利用	図書館	043-273-1192
入試、イベント	広報部	043-273-2826